

地域協働の独自授業「つべつ学」

北海道地域協働アワード2023準グランプリ受賞

3月9日、津別高校にて北海道地域協働アワード2023準グランプリ受賞式が行われました。

「つべつ学」では、地域と連携・協働体制を構築し、地域課題の解決のための独自の授業を実施。生徒の多様な学習活動の取り組みが評価され表彰されました。



ぐっさんの歌で大盛り上がり

ぐっさんのハッピーオンステージ全国50カ所ツアー

3月9日、中央公民館にてぐっさんこと山口智充氏による、単独ライブが開催されました。

トークやモノマネ、弾き語りなどを披露し、会場は大盛況。今年で55歳を迎え、円熟味を増したパフォーマンスで来場したファンにハッピーを届けました。

企業版ふるさと納税で社会貢献

伊藤忠建材株式会社が町に寄附

伊藤忠建材株式会社から町へ企業版ふるさと納税が寄附され、3月11日に役場庁舎において感謝状贈呈式が行われました。佐藤町長から関野博司代表取締役社長へ木製の感謝状が手渡され、「この度の寄附ありがとうございます。津別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画に沿うように使用していきます」と感謝を述べました。



(左から) 佐藤町長、丸玉木材(株)大越代表取締役社長、伊藤忠建材(株)関野代表取締役社長

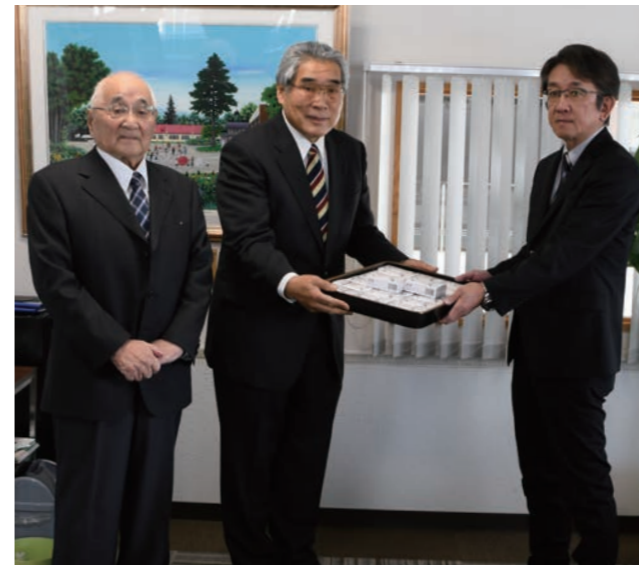
伊藤忠建材株式会社様よりコメント

当社は1961年の設立以来、輸入木材製品を日本全国で販売して参りました。ふと気が付くと、日本の森林は放置され、伐期を迎えた木材が収穫されずに山に残されている現実を目の当たりにしました。

「実りある豊かな未来への架け橋となる」これは、当社が定めたパーパス(存在意義)です。この言葉を胸に、当社はどんな未来に橋を架けられるのか考えました。

そんな時、半世紀以上も取引をしている丸玉木材株式会社が、津別の地で皆様と一緒に、北海道の木材に拘ってもの作りをされ、森の活性化に力を入れておられることに気付き、何かお手伝い出来ないか大越社長様に相談させて頂き、今回の寄付に至りました。

北海道の元気な木材を全国に、そして海外に向けて橋を架けて行きたいと思っております。



危険から身を守るために

町防犯協会が防犯ブザーを寄贈

3月8日、津別町防犯協会から教育委員会に防犯ブザーの寄贈があり、中川孝敏会長と加藤恭男副会長から近野教育長に手渡されました。

防犯ブザーの寄贈は、平成13年から毎年行われ、今年で24回目の寄贈となります。



安全な通学を願って

折りづる会が交通安全祈願マスコットを寄贈

2月28日、町内のボランティアグループ・折りづる会より手づくりの交通安全祈願マスコットが教育委員会に寄贈されました。

児童たちの安全な通学を願うクマのマスコットは、小学校の新一年生全員に贈られます。

能登半島地震被災地支援活動のため職員を派遣しました

第2弾

被災地支援活動を行うため、津別町役場から職員2名(白尾住民環境係長、佐藤行革電算係主事)を派遣しました。派遣された職員は3月9日から17日の間、石川県穴水町で活動し、被災箇所の測量作業などを行いました。



▲3月8日に行われた出発式

▲活動の様子

義援金のご協力ありがとうございました

令和6年1月1日に発生した能登半島地震で被災された方々を支援するため、皆さまからの義援金を受け付けておりましたが、3月10日をもって終了いたしました。

お寄せいただいた義援金は231,484円となり、この義援金は日本赤十字社を通じて被災された方々へ届けられます。

多くの皆さまからの温かいご支援、誠にありがとうございました。

